

本当のことを伝えない 日本のメディア

～前 *New York Times* 東京支局長が語る

日時：2016年2月1日(月) 18:30 ～20:30(18:15 より受付開始)

場所：中央大学駿河台記念館 670 教室(千代田区神田駿河台 3-11-5)

講師：マーティン・ファクラー氏 (前 *New York Times* 東京支局長)

※事前申込不要・参加費無料 講演は日本語で行われます。

日本駐在の外国人特派員は、これまで何十年も、「記者クラブ」制度やメディア本来の役割である「政権監視」を制限する日本のメディア慣行を批判してきました。

しかし、自民党や安倍政権は、たとえば、メディアの幹部を呼んで非公開の場で「事情聴取」をし、あるいは報道内容を理由に「厳重注意」を行うなど、むしろ、公式・非公式に圧力を強めてきています。

昨年12月には、日本政府が国連の表現の自由に関する特別報告者の受け入れを来日2週間前に突然キャンセルしました。報告者は、日本のメディア慣行も調査する予定でした。

あるコメンテーターは、このキャンセルは、政府が、「監視されることなく、政府が適当と思う方法でメディアを自由にコントロールしたい」と思っていることを示唆していると指摘しました。

日本の報道メディアが直面している現在の危機を、日本を熟知しているジャーナリストが語ります。



マーティン・ファクラー (Martin Fackler)氏

アメリカ人ジャーナリスト。1966年生まれ。
1996年からブルームバーグ東京駐在員。その後、AP通信に移り、ニューヨーク、東京、北京、上海で活動。
2005年からニューヨークタイムズ東京駐在員
2009年2月から2015年7月まで同東京支局長。
著書：『「本当のこと」を伝えない日本の新聞』(双葉新書)等

【アクセス】中央・総武線 御茶ノ水駅 (聖橋口) 徒歩 3 分

丸ノ内線 御茶ノ水駅 (2 番出口)、徒歩 6 分 千代田線 新御茶ノ水駅 (B1 出口)、徒歩 3 分

【主催】公益社団法人自由人権協会 (JCLU)

TEL:03-3437-5466 e-mail:jclu@jclu.org twitter:@JCLUsecretariat

facebook: www.facebook.com/japancivillibertiesunion